

「イタリア語の勉強会 Studiamo l'italiano」 1994-2025

イタリア同好会・高知は会員向けのイタリア語講座「イタリア語の勉強会 Studiamo l'italiano」を1994年4月に開講した。「イタリア語の勉強会 Studiamo l'italiano」という講座名は、講師も含め「ともに学んでいきましょう」という願いを込めて命名されたものだ。以来30余年「イタリア語の勉強会 Studiamo l'italiano」(以下「勉強会」)は様々な形を変えながら現在まで続いている。ここでは「勉強会」の来し方をその時々にお世話になったテキストとともに振り返ってみたい。

1. 1994年4月~1998年3月

- ・テキスト：NHK テレビ「イタリア語会話」
- ・開講状況：月2回 水曜日 18:30~20:30
1997年2月~ 入門クラス月2回、中級クラス月1回
- ・会場：高知短期大学会議室
- ・参加者：15名~20名

当時はまだインターネットは普及しておらず、音声教材と言えばカセットテープが主流の時代。テキストの入手もままならず、どうしたものかと思っていたのだが、ちょうどそのころNHKの語学番組にイタリア語が加わり、あのジローラモさんやダリオさんが登場するエンタメ性の高い番組を放送していた。語学学習では毎日その言語に触れることが理想的だが「勉強会」は月に2回だけ。テレビ放送なら各自で録画もして繰り返し見てもらえる、しかもテキストも手軽に購入できる、ということで、NHKテレビ「イタリア語会話」をテキストに選んだ。水曜日の夕刻15名ほどの会員が集い、手探りのイタリア語教室が始まった。記録によると2名の運営委員が会計やテキストの手配などを担ってくれ、懇親会や卒業パーティもある楽しい「勉強会」となった。

高知短期大学の会議室は玉置会員の計らいで使用させていただいていたが、そこは後に高知県立大学永国寺キャンパスに姿を変え、多くのイタリア人留学生を迎えることになる。「勉強会」とも縁の深い場所となった。

2. 1998年4月~1999年7月

- ・テキスト：「Qui Italia」
- ・開講状況：月2回 月曜日 初級 18:30~19:30 中級 19:40~20:40
- ・会場：高知短期大学会議室
- ・参加者：初級5名 中級7名(変動あり)

継続参加メンバーはこのころになるとかなり学習が進んで次のステップに進む必要が出てきた。また、新たに参加される方々もいて、イタリア語を基礎から体系的に学べるテキストとして「Qui Italia」を選択。初級・中級の2クラス体制となった。当初は旧版を使用。「Qui Italia」は恩師である東京外国語大学

の Marisa Di Russo 先生に勧めていただいたテキストだったが、ある時、セリエ A に所属していた日本人サッカー選手（たぶん長友選手）の密着番組で、このテキストでイタリア語を勉強しているところが放映されて、「同じテキストだ！」と嬉しくなったものだ。

3. 1999 年 9 月～2011 年

- ・テキスト：「Qui Italia」
- ・開講状況：基本的に初級・中級の 2 クラス、各クラス月 2 回～4 回（変動あり）
- ・会場：La Vita Annex ビル 8F 会議室
- ・参加者：初級 7～8 名 中級 7～8 名（変動あり）



1999 年 9 月、高知短期大学から La Vita アネックスビルへ会場を変更。

宮地彌典会員（当時）のご厚意でアネックスビル 8 階の会議室を使用させていただくことになった。

同時期、筆者が高知大学朝倉キャンパスで担当していた日本語クラスにイタリア人研究者がひょっこりやって来た。初代イタリア人講師となるジョバンニさんである。

ジョバンニ先生という心強い助っ人を得て、9 月から新体制で「勉強会」をスタートさせた。テキストは継続して「Qui Italia」を使用。

新規受講者のための入門クラスを開講したり、クラス編成を変えたりしながら、日本人講師の文法中心のレッスンとイタリア人講師による会話中心の

レッスンを組み合わせる方式が定着していった。

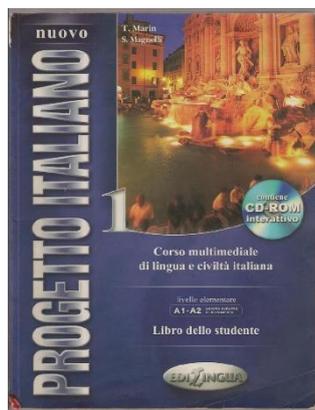
初代講師のジョバンニさんは高知大学での研究生活を終えて 2001 年 3 月に帰国。後任講師を探していたところ、偶然受講者の一人が街でイタリア人神父に出会い、講師を引き受けていただくことになった。その後はそのプラチド神父さんの紹介で、バチカンから派遣された「宣教家族」として高知に在住していたマウロさん、続いてマッシモさんが講師を務めてくれた。そのマッシモさんも 2009 年 3 月に東京に転居されたが、タイミングよくステファニーさんが高知に引っ越してきて、講師のバトンがつながっていく。

この間、2010 年 4 月～6 月にヴェネツィア、カ・フォスカリ大学留学生の日本語・日本文化研修が高知女子大学（現 高知県立大学）で実施された。マルティナ、ルカ、ダニエレ、2 人のヤコポの 5 人は忙しい研修の合間を縫って「勉強会」に顔を出し、会話の相手をしてくれた。また、会員宅での「お寿司を作る会」や交流会「みんなで踊ろう！よさこい」を催し、その様子は NHK ローカルニュースに取り上げられた。カ・フォスカリ留学生との交流の始まりである。

4. 2012 年～2014 年 7 月

- ・テキスト：「Progetto Italiano 1」
- ・開講状況：基本的に初級・中級の 2 クラス、各クラス月 4 回（変動あり）
- ・会場：La Vita Annex ビル 8F 会議室

- ・参加者：初級 7~8 名 中級 7~8 名（変動あり）



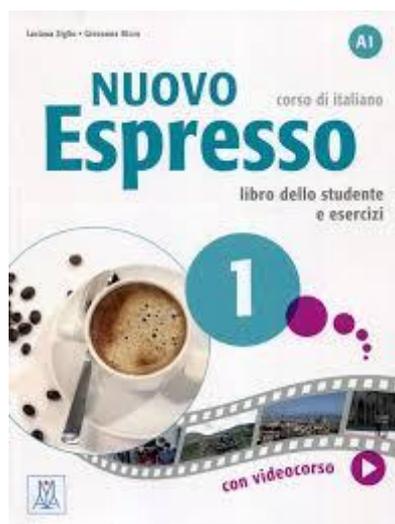
いよいよ最後のグループが「Qui Italia」の学習を終了、次のテキストには「Nuovo Progetto Italiano」を採用した。2000年代に入ると、イタリア語の教材もそれまでのいわゆる「文法積み上げ式」のテキストから、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のCan-doに基づいたコミュニケーション重視のテキストに様変わりしていく。新しいタイプのテキストを使って、初級クラスは日本人講師＋イタリア人講師、中級クラスはイタリア人講師のみで、同一テキストをレベルに合わせた進捗で進めていった。

ステファニーさんは転居のため 2014 年 7 月で講師を退任。

2012 年からは毎年 4 月～6 月に 10 名ほどの留学生が高知県立大学で日本語・日本語文化研修を行うようになり、「勉強会」でも会話の相手を務めてくれた。日帰りツアーを企画したり、定例会で劇を披露したりと楽しい交流が続いていく（2022 年まで）。学習者にとっては生のイタリア語に接する格好の機会となった。

5. 2014 年 9 月～2022 年 4 月

- ・テキスト：「Nuovo Espresso Italiano 1&2」
- ・開講状況：基本的に初級・中級の 2 クラス、各クラス月 4 回（変動あり）
- ・会場：La Vita Annex ビル 8F 会議室
- ・参加者：初級 7~8 名 中級 7~8 名（変動あり）



ステファニーさんと入れ替わるように、イタリア人講師パオロさんに出会うことができた。パオロさんは DITALS（非母語話者にイタリア語を教える資格）を持ち、日本語も堪能。「勉強会」の講師を全面的にお願いすることになった。テキストはパオロさんのお勧めで

「Nuovo Espresso」シリーズに変更。

その後はパオロさんのもとで順調にレッスンが進んだが、コロナ禍の時期には休講、あるいはオンラインレッスンを余儀なくされた。

中級クラスは 2021 年 3 月よりパオロさんのご厚意で「Kappa イタリア語文化教室」へ会場変更。

パオロさんは帰国のため 2022 年 4 月をもって講師を退任。

パオロさんには、専門の資格を持つ講師として本格的にイタリア語をご指導いただいたのみならず、イタリア同好会・高知の活動にも大いに貢献していただき、感謝の念にたえない。

6. 2022年5月～

イタリア人講師が不在となり、初級クラスは引き続き「Nuovo Espresso 2」を使ったレッスンを月2回石川が担当することになった。一方、中級クラスは県庁前の「とさこや」でカフェを出店していたシモーネさんに、カフェで会話クラスをお願いすることになった。毎回テーマを決めてイタリア語で話し合うスタイルで1回1時間のレッスンを月3回実施。さらに、月1回はZoomで「Espresso Italiano 3」を使って主に文法的な練習を続けた。2023年5月シモーネさんはカフェを閉店され「とさこや」でのレッスンは終了した。

その後6月から、2023年4月に高知県立大学に入学したシチリア出身のブルーノさんに講師をお願いすることになり現在に至っている。

現在（2025年7月）の開講状況は次の通り。

初級クラス	月2回	火曜日 19:00~20:30	会場	百石町2丁目公民館
中級クラス	月3回	木曜日 18:30~19:15	会場	八反町集会所
	月1回	木曜日 19:00~20:30	Zoom	

おわりに

「イタリア語の勉強会 Studiamo l'italiano」はイタリア同好会・高知の会員有志による自主運営の会です。30余年にわたり続けてこられたのは、ご協力くださった皆さんのおかげに他なりません。会場を提供してくださった方々、会計や会場の予約など運営を担ってくださった方々、イタリア人の講師の皆さん、そして何より一緒に学んでくださった参加者の皆さんに心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。「勉強会」でのイタリア語経験が皆さんの人生に少しでも彩りを加えることができたら幸いです。

最後になりますが、歴代のイタリア人講師のお名前を記し、心よりの感謝をお伝えしたいと思います。

Ringraziamenti speciali agli insegnanti italiani:

1999-2001 Giovanni Checcucci
2001-2009 Padre Placido, Mauro Larese, Massimo Succi
2009-2014 Stephanie Scholtes
2014-2022 Paolo Maddalena
2022-2023 Simone Piredda
2023- Bruno Figliola

2025年8月 石川啓子